

## 2022春季生活闘争妥結!!

### 「人への投資」を強く求め、未来づくり春闘を展開!!

【JR四国】 JR四国との2022春季生活闘争は、2月21日に1回目の団体交渉がスタート。組合は「厳しい経営環境下でも、組合員はキーワーカーの責任感と使命感を持ち、『安全・安定輸送』を第一義に奮闘している。足元では、若手・中堅層の離職に歯止めがかかっておらず、要員需給の逼迫、支援策による業務量増加で組合員の負担は増している。『生き生きと働ける企業グループ』とするためには、安心して高い意欲と誇りを持ち働き続けられる労働条件・労働環境の実現が不可欠。『長期ビジョン』等スタートの年として、『コロナを言い訳』にせず、大胆な人財への投資を行いたい」と強く要請した。これに対し、3月3日の2回目の交渉で会社は「会社発足以来最大の危機的状況下にある。先行きは不透明であり、経営自立に向けた持続可能な経営体制の構築には、雇用確保を第一義に取り組みが必要がある」とし、定期昇給についても慎重に検討する姿勢を見せた。昨年に引き続き厳しい交渉となるも、組合は粘り強く交渉を展開。3回目となる3月24日の交渉において、定期昇給完全実施を引き出すとともに、6項目の制度改善の回答を受けた。今回

### 経営自立にむけた2年目がスタート 安心して働き続けられる環境を創出すべく 全組合員一丸となり収入確保に取り組みよう!

JR四国労働組は昨年7月の大会で決定したスローガン「団結 創造 実践 JR四国労働組の強固な団結力と創造力で社会変化に対応した労働運動を実現し、この難局を乗り越え明るい未来を切り拓こう!」のもと、運動方針の3本柱である『安全・安定・安心輸送の確立』『組織の強化・拡大』『労働条件の改善』を中心に、コロナ禍の中でも積極果敢に活動を展開してきました。

2022年度は、2031年度の経営自立を目指す「JR四国グループ長期経営ビジョン」 「中期経営計画2025」の2年目となります。2年超に亘るコロナ禍による会社の危機的状況乗り越え明るい将来展望を描くためには、引き続き労使一丸となつて取り組みを進めていかなければなりません。特に、同ビジョンにも掲げられた「ありたい姿」にある『従業員が誇りを持ち、生き生きと働ける企業グループ』に相応しい労働条件・労働環境の実現がなければ、成しえないものと認識します。

JR四国労働組は、JR四国及びジェイアール四国バスの責任組合として雇用と生活を守ることを念頭に、将来にわたり希望と誇りを胸に、安心して働き続けることのできる環境整備に邁進していく決意です。そして、その実現のためにも、JR四国グループ2022年度事業計画の営業収益415億円、鉄道運輸収入169億円を確保すべく、グループ一体となった営業施策の推進に貢献するとともに、「四国再発見増収キャンペーン」 「利用促進キャンペーン」の積極的な参加に向け、全組合員が一丸となつて取り組むことを要請します。

2022年4月1日  
四国旅客鉄道労働組合

【ジェイアール四国バス】 組合は、ジェイアール四国バスとの2022春季生活闘争に係る団体交渉を、3月3日、18日の2回にわたり行った。

1回目の交渉で組合は「コロナ禍で利用客が激減し、資金繰りにも窮する状況。組合員の生活も困窮する状況が継続しているが、利用回復やワクチン接種等明るい兆しも見えつつある。奮闘する組合員の期待に応え、反転攻勢とさらなる発展・成長に必要不可欠な『人への投資』を行うべき」と強く訴えた。

会社は「昨年度決算は10億円の最終赤字、今年度中間決算は4億円超の赤字という状況。10月以降は利用が戻りつつあったが、年明け以降、オミクロン株感染拡大の影響は大きく非常に厳しい状況にある。資金繰りは、数か月先には借金をする可能性を孕んでおり、決して楽観視はできない」とし、定期昇給についても慎重な検討を要することや、制度改善等についても現時点では対応が厳しいとの考えを示した。

交渉は難航したが、組合員の想いを粘り強く訴え続けた結果、2年振りの「定期昇給 完全実施」をはじめ、賃金改善等複数項目の改善という回答を引き出した。厳しい経営環境下ではあるが、会社の「一層の安全・安心輸送の推進と、先行き不透明かつ厳しい新たな局面を呈する時代に立ち向かうべく、労使一体となり取り組みを進めていく」姿勢と「賃金引き上げは短期的視点ではなく、将来を見据えたうえでの判断。今後とも長く働いてもらいたい」との考えを確

した。(詳しくは、JR四国労働組自動車支部ニュースNo.8、9を参照)



春闘勝利に向け「団結ガンバロー」(徳島)

JR連合四国地協・各県協定期委員会・春闘討論集会を開催!

## 【2022春季生活闘争での妥結内容】

- ◆ジェイアール四国バス◆
  - 定期昇給(年齢給・職能給)の完全実施!
    - ・2022年4月25日以降精算(例年5月精算から1ヵ月前倒し)
    - ・待命休職期間による不均衡がないよう取り扱う
    - ・2022年4月1日時点待命休職中の者も対象
  - 新規採用者に対する初任給の底上げ!
    - ・最低賃金の水準を勘案しながら調整を実施
  - 契約社員・定年再雇用契約社員の賃金改善!
    - ・契約社員(営業係)の賃金改善
      - 日給: 6,850円、月給: 150,050円
    - ・定年退職再雇用契約社員: 最低保障額の改善
      - (構内運転係) : 甲・160,000円 乙・170,000円
      - (デスク) : 160,000円
      - (営業係) : 160,000円
    - ・定年退職再雇用契約社員: 清掃係は4県同額(850円)に改善
  - コロナ感染・濃厚接触者への保存休暇適用!
    - ・実態を踏まえ一定期間さかのぼって適用することも確認
  - ハラスメント防止対策関連法の対応整備!
    - ・規程整備、相談窓口の設置、社員への周知・啓発
  - 改正育児介護休業法に基づく環境改善!
    - ・育休取得にかかる環境整備、1年未満の契約社員も対象化

- ◆JR四国◆
  - 定期昇給の完全実施!
  - 会社を支えるべく昼夜奮闘する組合員の労苦に報いる 制度改善をはじめ、6項目を勝ち取る!
    - ① C単価の引き上げにより、夜勤手当、祝日勤務手当等を改善
      - ・C単価「25/100」→「28/100」に大幅アップ
    - ② 育児・介護休職取得時の昇給の取り扱いを改善
      - ・3ヵ月を上限に昇給所要期間へ算入
    - ③ 在宅勤務を制度化(対象箇所: 本社・附属機関)
      - ・デジタル基盤の整備を進め、適用対象の拡大にも言及
    - ④ 特急特認適用条件の緩和
      - ・家族と同居していない場合でも承認対象に
    - ⑤ エキスパート組合員の雇用条件改善
      - ・雇用期間を原則5年一括契約へ改正
      - ・私傷病休暇の付与期間を拡充
      - ・年次有給休暇付与条件の緩和
      - ・失効する年休の保存休暇への累積が可能に
    - ⑥ 育児介護休業法改正に対応した制度改善
      - ・育児休職の分番取得が可能に
      - ・エキスパート組合員・準組合員の育児休職適用範囲拡大
      - ・妊娠・出産の申し出に対する育休取得の意向確認を強化
  - 年間休日数増に向けて前向きな検討を表明!

第7回本部執行委員会開催



第7回本部執行委員会は、3月12日(土)13時30分より香川県立ミュージアム研修室にて開催された。  
経過報告と議事については次のとおり。  
【経過報告】  
・組織の強化拡大

- ・(経営協議会) 効率化施策
- ・(業務) 高徳線「うずしお号補機駆動軸脱落」について
- ・伊予三芳(伊予桜井駅)間「桜井架道橋からの橋りょう銘板落下」について
- ・土讃線・朝倉駅での「車内放送用マイクからの発火」について
- ・高松エクスプレスのダイヤ改正に対する具体解明要求について(団体交渉)
- ・2022春季生活闘争(JR四国・ジェイアール四国バス)(共闘)
- ・JR連合四国地協第30回定期委員会
- ・(県協定期委員会・春闘討論集会)
- ・香川県協 愛媛県協 高知県協 徳島県協

- ・(男女) 男女平等参画推進委員会
- ・(部会) 事業開発部会定期委員会
- ・(JR連合) 労働政策委員会
- ・産業政策委員会
- ・安全対策委員会
- ・男女平等参画推進委員会
- ・自動車連絡会幹事会
- ・JR連合ビジョン推進委員会
- ・30周年事業企画委員会
- ・第34回中央委員会
- ・グループ労組連絡会春闘総決起集会
- 【議事】
- ①綾川町長選挙並びに松山市・四万十市議会議員選挙における推薦候補者の承認について
- ②24協定及び36協定の妥結承認について
- ③営業施策に関する付議

- ④安全・事故防止に関する職場諸問題の集約について
- ⑤ダイヤ改正に関する諸問題の集約について
- ⑥JR四国労組第41回定期大会の招集について
- ⑦2022年度新規採用者の全員加入に向けた取り組みについて
- ⑧支部対抗軟式野球大会の開催について
- ⑨ユニオンスクール「特設コース」の開催について
- ⑩交通共済からの移転に伴うこくみん共済coop協力団体契約について
- ⑪JR連合「第12回安全シンポジウム」の開催について
- ⑫当面するスケジュールについて
- ⑬その他

ロシアのウクライナ軍事 連合アピール参加！

「人々を守れ 平和と対話を」のボードを掲げ、緊急アピールを実施！

2月24日、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始した。これはウクライナの領土と主権を侵害し、紛争の平和的解決を義務付ける国際法に反するものであるほか、軍事侵攻に際しての核兵器保有誇示の姿勢等、核兵器保有5カ国が発出した共同声明にも反した行動をとっている。  
連合は、この軍事侵攻を厳しく非難するとともに、即時の作戦中止・撤退と核兵器反対・恒久平和を強く求めるための緊急アピールを行った。JR四国労組も連合の一員として、3月12日に本部執行委員会を中心に「アピールボードアクション」へ参加した。



「人々を守れ 平和と対話を」のボードを掲げ、緊急アピールを実施！

男女平等参画 推進委員会開催



女性委員も出席し議論に参加

3月12日(土)12時30分より、香川県立ミュージアム研修室において「第1回男女平等参画推進委員会」を開催した。委員会は、JR連合の取り組みとして、行動計画の数値目標の達成状況を振り返り、JR四国労組では本部における女性執行委員ゼロの解消はなされなかったが、支部・分会における選出や各種

JR四国労組第41回定期大会の開催について(告示)

四国旅客鉄道労働組合同規約第18条及び第19条に基づき、第41回定期大会を下記のとおり招集します。

記

- 日時 2022年7月8日(金) 10時30分から17時まで
- 場所 JRホテルクレメント高松 香川県高松市浜ノ町1-1 TEL 087-811-1111
- 議題
  - 2022年度運動方針(案)
  - 2022年度財政方針(案)
  - その他

2022年3月12日  
四国旅客鉄道労働組合  
執行委員長 大谷 清



JR四国労組  
LINE  
公式アカウント  
友だち募集中

会議への参画率は組合員比率を超える結果となった旨を報告。また、現在策定に取り組みJR連合「第4次男女平等参画進行動計画(案)」について議論したほか、JR四国労組の取り組みとして、レディースミーティングや大会等での意見を総合労働協約改訂や春季生活闘争の団体交渉で活用し、女性組合員の労働条件改善を実行していることを確認した。

支部対抗軟式野球大会の開催について

日時 2022年5月25日(水)  
香川支部 9:00集合  
香川支部以外 9:30集合  
場所 レクザムボールパーク丸亀(丸亀市民球場)

対象者 各支部14名以内(責任者除く) 青年女性組合員

※詳しくは JR四国労組発第77号参照  
お申込は各支部まで!!



ユニオンスクール「特設コース(管理者セミナー)開講!

日時 2022年5月28日(土) 13:30~17:00  
場所 香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」  
対象者 管理者組合員 25名程度(現場長・助役、非現場部門の主席クラス、管理者資格保有者)

※詳しくはJR四国労組発第78号を参照。参加希望者は、所属分会長まで!

少ない掛金で安心のサポート JR私傷病共済

JR私傷病共済は、全国のJR連合組合員が会員となって運営されている互助制度です。会員が私傷病で欠勤し、賃金が減額された際、減収分を補い、家族の生活をサポートします。  
2020年度(2020.8~2021.7)は278名の加入者に27,070,000円の傷病見舞金を支給しました。  
組合員の安心とJR私傷病共済の健全で安定した運営に向けて、新規加入及び増口(1口→2口)の取り組みをよろしくお願ひします。

掛金は [1口:年間掛金 4,000円] [2口:年間掛金 8,000円]

のどちらかから選択できます。詳しくは、各支部までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症(ぬいむ)にも資金が連続して3日以上滞り続いた場合は給付されます!

女性組合員の皆さまに 私傷病共済では出産をした女性会員に 出産祝金を給付しています。



火災共済・3保障制度(共済セット加入)他 各種任意共済 加入受付中!!  
交通共済では、万が一に備えて火災共済(+3保障制度)、地震風水害共済、交通災害共済、生命共済、マイカー共済の加入を随時受付しています。

●「ごめんなさい」では済まない場合もしっかり保障!  
⇒ 家を新築するとき、アパートを借りるときは「交通共済」までご連絡ください!

【お問い合わせ先】  
全国交通共済生協四国事業本部(JR職域生協)  
香川県高松市西の丸町11-9 1階  
JR:086-2592 JRFAX:086-2591

類焼損害保障

個人賠償保障

借家人賠償保障+修理費用

※借家にお住まいの方のみ